

VIEW

志々場所長の訓示！「検査をする目線の先にお客様の顔を思い浮かべよ！」

「自分に言い聞かせるだけでは駄目。お客様を意識すれば大きな声で喚呼が出来る！」

本末転倒！検査よりも喚呼が重要??

6月1日の総点呼で志々場所長は「作業中に確認喚呼の声が出ていない。現在やっている作業の中でその先にお客様がいることを意識して作業をやる必要がある。声が小さいのは、意識が足りない。お客様の顔を浮かべて作業をする必要がある」と普段の作業で意識が足りないということや「自分に言い聞かせるだけでは、お客様を意識できない。大きな声で確認喚呼できない」と確認喚呼のやり方に問題があると訓示をしています。また、訓示の中で自ら「ロックシリンダー動作確認良し！」と点呼を行っている4階中に聞こえるような大声を出して見せました。

その時の社員の感想は、何が起こったんだ?! 所長は何で急に怒鳴ったのか?! というもので訳がわからずにビックリしたというのが正直な感想でした。

そもそも、検査をする先にお客様の顔を思い浮かべて検査など出来ません!!

車両の検査は、車両状態に異常がないか。摩耗量は大丈夫か。漏油、漏気、破損が無いかな。動作に異常がないかな等を基準に照らして調べることです。そのことに意識を集中させないと出来ません。

6月1日の所長訓示の後に、管理者が側引き戸開閉テストの作業を見はからって巡回を行っています。検査中の社員の横に張付き「声が小さいです」「もっと聞こえるような声を出してください」と言って作業を行っている社員に圧力をかけています。

これまで会社は、「車両系統は、安全な車両を提供すること。車両故障を起こさないことが重要。そのための検査をしっかりとって欲しい」と言ってきました。

それを急に意識が足りない。意識改革が必要と言って圧力をかけています。

はっきり言って検査の邪魔です。管理者に対し、皆ではっきり言っていきましょう!!

※ちなみに、所長訓示の中で言っていた「ロックシリンダー動作確認良し！」という確認喚呼項目は、実際の作業には存在しません。間違いです。